（別添資料1）

事業所名　リンスタランド

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日　2026 年 11 月 1 日

法人(事業所)理念	リンスタランドでは"経験"の中で育む支援を大切にしています。制限や強制的なアプローチは行いません。自発性を大切にし、個人の成長や発達を支援します。ヨガ×療育の新しいカタチで、子どもたちとご家族のサポートを大切にします。個々の発達の遅れや偏りに対して、新たな神経回路をつくることを目的として、あらゆるアプローチを展開しています。	
支援方針	まず"お互いのことを知る"というところを丁寧に取り組みます。その中で ①もっと伸ばせるところをどんなアプローチで高めていくかを見つける、②伸ばせる得意分野と共に養える苦手なゾーンを洗い出して、どのようにアプローチできるか見定めていく。 この2点を見つけていけるように関わります。	
営業時間	火曜～土曜日　9 時 00 分から　17 時 00 分まで	送迎実施の有無　あり　(なし)

支援内容

本人支援	健康・生活	発達支援における健康・生活領域では、「自律神経の調整」と「脳疲労の改善」が重要な要素です。自律神経は、交感神経(活動・緊張)と副交感神経(休息・回復)のバランスを取り、心身の安定に寄与します。発達特性を持つ子どもたちは、感覚過敏や環境の変化に敏感で、自律神経が乱れやすい傾向にあります。これにより、睡眠の質低下、食欲不安定、集中力低下、情緒不安定といった問題が生じます。脳は大量の感覚情報を処理しますが、感覚統合がうまく働かないと脳が過度にエネルギーを消費し、「脳疲労」を引き起こし、注意力や学習意欲の低下が発生します。姿勢改善・感覚統合アプローチにより、自律神経のバランスを整え、脳疲労を軽減し、これにより、子どもたちが日常生活をより快適に過ごせるようになり、学習や対人関係の向上にもつながっていきます。また、口腔衛生の習慣づくりを通して健康的な生活の実現を目指します。歯科受診への不安を軽減し、歯科医院の環境や診察に慣れ、安心して口腔ケアや治療を受けられるよう、歯科との連携を図ります。
	運動・感覚	運動・感覚の支援は、机上のトレーニングではなく、実際の経験を通じて発達するものです。そのため、楽しみながら体を動かし、感覚を統合する機会を増やすことが、子どもの「生きる力」につながっていきます。感覚統合を促すことを目的に、特に触覚の育成を大事にしています。これは、触覚からの情報を基に、傾きを感じ取る力を発揮し、力加減を調整するからです。定期的に足裏測定、姿勢写真の撮影を行い、現状と次に養うポイントを確認しています。
	認知・行動	日常により近い空間の中で、認知トレーニング(記憶力・問題解決能力・情報処理能力の強化)・非認知トレーニング(情緒のコントロール、ストレス耐性の向上)・運動と認知機能の関連強化プログラム(身体を動かしながら考える力を養う)を行っています。運動や行動として外に現れている事柄の背景となる想いや感情を、自分自身で自覚していけるように対話を大事にしています。子どもたちの「好き」の背景にある想いや経験、そこで生まれる感情を言語化できるように、子どもの発達段階に応じて支援しながら、徐々に自分で表現できるよう関わります。運動や行動の背景を自覚できることで、「自分らしい選択に自信を持つ強さ」を大切にできるように関わります。
	言語 コミュニケーション	日常により近い空間の中で、SST(ソーシャルスキルトレーニング)(対人関係の基本スキル獲得)・TEACCHアプローチ(視覚的な支援を通じた自己理解の促進)ABAアプローチ(行動の評価と介入による適切な言語・コミュニケーションの形成)を行っています。姿勢改善を通じて、口腔機能や呼吸のコントロールを改善し、発話の安定をサポートします。また、感覚統合支援により、固有感覚を強化することで、発話の安定をサポートするとともに、聴覚・視覚からの情報処理がスムーズになり、言語理解・さらなる表出に繋がります。SSTやTEACCHを活用し、相手の話を聞く力、自分の想いを言語化する力を強化し、対人コミュニケーションの自信をつけていきます。
	人間関係 社会性	人との関わりは、単なるコミュニケーションの習得だけでなく、「生きる力」を育むための重要な要素です。「生きる力」とは、自己理解・自己肯定感を基盤としながら、他者と協力し、適応し、社会の中で自分らしく生きていく力を指します。しかし、感覚統合の課題や姿勢・運動機能の未発達によって、社会性の発達に困難を抱える子どもたちも少なくありません。たとえば、感覚過敏や鈍麻により、他者との距離感が適切に取れなかったり、刺激を避けるあまり社会的な場面での関わりが希薄になったりすることがあります。また、姿勢やバランス感覚が不安定だと、眼球運動にも未熟さが出てしまい、情報収集に偏りが出ます。そこで、「感覚統合・姿勢改善を基盤とした社会性の向上」を目的とし、体験を通じたプログラムを実施することで、他者との関わりをより自然なものにし、「生きる力」としての社会性を育てることを目指します。また、グループ活動を通じて、他者と協力しながら課題を解決する力を養っていきます。

家族支援	各活動の写真付き報告書を定期的に掲示し、共有しています。また、家庭でも役立つ姿勢改善のアドバイスを提供しています。保護者の方が自身の「ゆるむ」時間を確保できるよう、面談の機会を持たせて頂いています。	移行支援	必要に応じて、幼稚園・保育園や学校と連携を図り、情報共有をします。特に進学や進級のタイミングでは、子どもたちへの支援に力を注いでおり、情緒面でのサポートにも重点を置いています。
地域支援・地域連携	歯科の季節イベント(夏祭り・ハロウィン・クリスマス)に参加しながら、地域の子どもたちとのふれあいを広げていきます。	職員の質の向上	会議では、各自の視点から子どもの様子を共有し、より効果的な支援方法を検討しています。また、定期的に職員研修を実施し、支援の質の向上に努めています。さらに、外部研修にも積極的に参加し、自己研鑽を重ねています。
主な行事等	リトミック、感触遊び、季節の制作、季節イベント(夏祭り・ハロウィン・クリスマス)、歯科衛生士指導など		